

露地ナスにおける物理的防除技術を用いたアザミウマ類の管理対策

【研究概要】

①光を用いた土着天敵誘引技術の検証：露地栽培において、ナス花には主にヒラズハナアザミウマが発生する。紫外線反射マルチは圃場へのアザミウマ類の侵入を抑制する。天敵温存植物と紫色 LED の併用は、圃場へのヒメハナカメムシ類の誘引を促進し、アザミウマ類による被害果率を減少させる。また、これら資材は収穫果数に影響しない。しかし、これら資材を併用しても、果実を加害するカメムシ類による被害は生じるため、別途対策が必要である。

②土着天敵発生調査：ヒラズハナアザミウマが発生している露地ナス圃場において、土着天敵の発生を調査した。マリーゴールド、オクラ、ゴマ、ソバの4種の天敵温存植物と紫色 LED を併用したところ、アザミウマ類の発生期間を通じてヒメハナカメムシ類が多く観察された。また、9月以降、ゴマ上にタバコカスミカメの発生が認められ、その後ナス上にも認められたことから、天敵温存植物として有用であると考えられる。